



## ●環境を考えるきっかけ…とうかい環境フェスタ・キャンドルナイト

7月25日、役場中庭で、「とうかい環境フェスタ2015withキャンドルナイト」が行われました。これは、イベントを通して、来場者が環境のことを考えるきっかけになればと毎年行われているもの。環境フェスタでは、駐車場内に設置された太陽光パネルの下を利用し、パネル展示や体験コーナーなど、約30のブースが出展したほか、キャラクターによる環境ショーも行われ、子どもから大人までさまざまな催しを楽しみました。また、夜にはキャンドルナイトが行われ、たくさんのキャンドルに火が灯ると、会場は一気に幻想的な雰囲気に…キャンドルの優しい灯りに包まれながらスローな夜を過ごした来場者たち——“見て”“聴いて”“体験”しながら、環境について考えるひとときとなったようです。



写真展「東海村の今昔」の様子

## ●村立図書館開館30周年記念事業がスタート!

8月1日、村立図書館において、開館30周年記念事業のオープニングセレモニーが行われました。8月10日で開催30周年を迎えた村立図書館。今年は村が発足60周年を迎える節目の年にも当たり、さまざまな記念事業が予定されていますが、そのスタートを切る「写真展『東海村の今昔』」の開始に併せて行われたものです。川崎教育長は「これからも“知のデパート”として、赤ちゃんから大人まで楽しめる、そして、“人と人とのつながり”を大切に、そんな図書館を目指していきたい」とあいさつし、今後の図書館機能の充実に期待を寄せました。



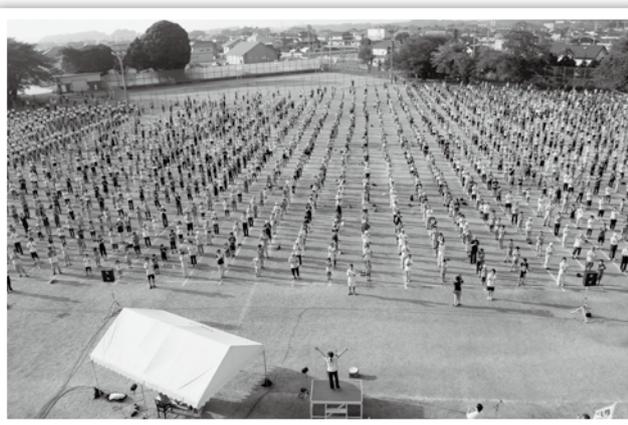
【写真左から】照沼図書館長、埴厚さん(東海村教育委員会委員長)、川崎教育長、山田村長、鈴木村議会議長、土尻滋さん(図書館協議会委員長)、寺門友子さん(東海ぶらら倶楽部)





## ●歩いて始める1日! とうかい☆朝ウォーク

7月29日の午前6時から、「とうかい☆朝ウォーク2015」が開催され、総合福祉センター「絆」を基点とする5キロメートルの周回コースで、277人の参加者が約1時間のウォーキングを楽しみました。村の発足60周年記念事業でもあるこの催しは、早朝のさわやかな空気の中を歩く経験を通して、幅広い世代の方に体を動かす習慣を身につけてもらおうと実施されたもの。連日の猛暑が続いたこの時期、まだ日差しが弱い早朝とはいえ、ウォーキングを終えた参加者の額には汗が光っていました。そんな皆さんを迎えてくれたのは、食生活改善推進員による「体が喜ぶ夏野菜スープ」の試食。素材の味を生かした優しい味わいに、疲れた体もすっかり癒されたようです。



## ●東海村の元気を全国に発信! ラジオ体操

8月3日、東海中学校グラウンドで、約3,000人の参加による「ラジオ体操・みんなの体操会」が開催され、その様子はNHKラジオ第1放送で全国に生放送されました。ラジオ体操が東海村で開催されるのは9年ぶり——今回本村が会場に選ばれた背景としては、地域の健康づくりへの寄与はもとより、東日本大震災で被災した校舎の建て替えが終わった東海中学校で開催することにより、地域の復興をPRするという意味も込められているそうです。後方に並んだ方の顔が見えないほど、たくさんの人が集まったグラウンドは、参加者のエネルギーで満ち溢れていました。

## ●村の“まち・ひと・しごと”を考える、推進会議始動!

7月21日、役場で、第1回「東海村まち・ひと・しごと創生推進会議」が行われました。住民や事業者、有識者等で構成されたこの推進会議は、「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、人口減少の克服と地方創生を目指し、「しごと」(雇用の質と量の確保)と「ひと」(人材育成や若い世代への子育て支援)の好循環を確立し、それを支える「まち」に活力を取り戻すための政策を実現していくために設けられた機関です。特に若い世代に焦点を当て、村の特性を踏まえながら“人口減少へどう立ち向かい、どのような村をつくるか”について、さまざまな視点から議論を進めていきます。議論の内容は「地方人口ビジョン」や「地方版総合戦略」に盛り込み、具体的な事業の推進につなげていく予定です。

